

回答書

「京都市税務システム再構築等業務委託」の質問に対する回答

No.	書類(入札説明書・仕様書等)	項・題目名・番号等	質問事項	回答
1	仕様書	第11 非機能要件 表11-1 非機能要件(その他委託業務等) 項番2 (2) 認証	「システムのサーバは独自のドメインを利用すること。」と記載があります。 これは、京都市側で既に構築しているドメイン環境に参加するという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	仕様書	第11 非機能要件 表11-1 非機能要件(その他委託業務等) 項番11 ステージング(検証)	「ステージング環境(検証)は、原則前日の業務終了時点の本番環境と同じ状態であること。」と記載がある一方で、同資料の「4 システム環境構築 (1)環境構築 表12-3 環境の種類と作業想定」において、検証環境のデータは「テストデータ」と記載されています。 構築フェーズの段階から、本番環境相当のデータが格納される認識でよろしいでしょうか。 また、「必要に応じて個人情報のマスクング可能であること」というのは、制度個人番号のみが対象ということで相違ないでしょうか。	ステージング環境のデータは、利用フェーズによって想定が異なります。仕様書に記載の「テストデータ」はシステム構築フェーズでの利用を想定しており、「前日の本番環境と同じ状態」とは稼働後の通常運用を指します。したがって、構築当初から本番データが格納されるわけではございませんが、構築後半の受入テスト等では本番に準じたデータでの検証を想定しております。 また、制度個人番号をいわゆる番号法上の個人番号として回答しますが、マスクング対象とする個人情報の対象はこれに限定されません。具体的なマスクング範囲やルールは、事業者選定後に別途協議させていただきます。
3	仕様書	第12.5.(7)	研修実施に必要な会場、設備、端末などの手配は本調達の対象外の記載がある一方、ア 研修計画に研修終了後から本稼働までの期間に各拠点で学習できるよう研修端末・環境構築の記載がありますが、端末の準備及び環境構築は今回の調達の範囲外の認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4	仕様書	運用保守業務委託仕様書(案) 第1 業務の概要 第5 サービスレベル合意(SLA)	「第1業務の概要」ではサービス時間:7:45~20:00、端末台数700台と記載されていますが、「第5サービスレベル合意(SLA)」ではサービス時間:6:00~24:00、応答時間:同時接続台数500台と記載されています。どちらが正しいでしょうか。	「第1業務の概要」中、「システム利用時間」は職員が主にシステムを使うコアタイムであり、「端末台数」はシステムを使う可能性のある端末の総数です。 「第5サービスレベル合意(SLA)」中「サービス時間」は、夜間バッチ処理等を含めた、システムが稼働を保證すべき時間を示しており、「同時接続台数」は、その中で最も混み合う瞬間のアクセス数を想定した性能目標です。
5	企画提案書作成要領	2 (2) ア	技術提案項目評価表の記載頁を提案書に記載とありますが、提案書記載項目対応表に記載という意味で合っていますでしょうか。	失礼いたしました。誤記となりますので、ご認識のとおりです。
6	企画提案書作成要領	2 (2) サ	運用保守契約額及びガバクラ利用料の想定額の記載については、50頁に含める必要がありますでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	企画提案書作成要領	3 (4)	電子データには正本副本両方の電子データを格納することよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	提案書様式	様式第5号_機能要件【法人】 1.1.12. 異動届 2.3.1. 課税標準額通知 3.1.1. 更正請求書	異動届、課税標準額通知および更正請求書の「固有の事情等」に”疑似”イメージの記載が御座いますが、この”疑似”の意味としてはXMLやCSVなどの電子データからPDFのような画像データを生成する意味となりますでしょうか。紙情報をスキャンした画像を取込・管理できればよろしいでしょうか。	疑似イメージはXMLデータから画像データを疑似的に作成する機能とご理解ください。ただし、イメージ管理システムとしては、紙資料をスキャンしたものに係る画像管理(画像データ取込・宛名との紐づけ管理等)についても必要な機能となります。
9	提案書様式	様式第5号_機能要件一覧【収納】 項番8.1.8.1他の標準準拠システムへの連携	「財務会計システムへの連携データを出力可能であること。EUC対応も可とする。」 「収納管理システムで消込、還付、税目間の振替等の処理をした結果を財務会計システムに連携できること」 本要件に関する仕様(処理周期、連携インタフェース項目)を提示しただけでないでしょうか。	以下、処理周期とデータ項目についてのみ参考情報として記載いたします。 処理周期:日時 項目名:1.執行年2.執行月3.執行日4.カード種別5.市区別6.収入支出方法7.スペース18.OCRサイン9.年度10.会計11.命令No12.款13.項14.目15.節16.付記17.サイン18.金額19.所属コード20.期21.月22.収納月23.収納日24.氏名カナ25.スペース2 26.支払種別27.スペース3 なお、現行システムの設計情報にあたるため、上記以外の詳細情報は契約締結後に受託者に対してご提供いたします。